

地域探究科 はじまる



北海道大樹高等学校
HOKKAIDO TAIKI HIGH SCHOOL

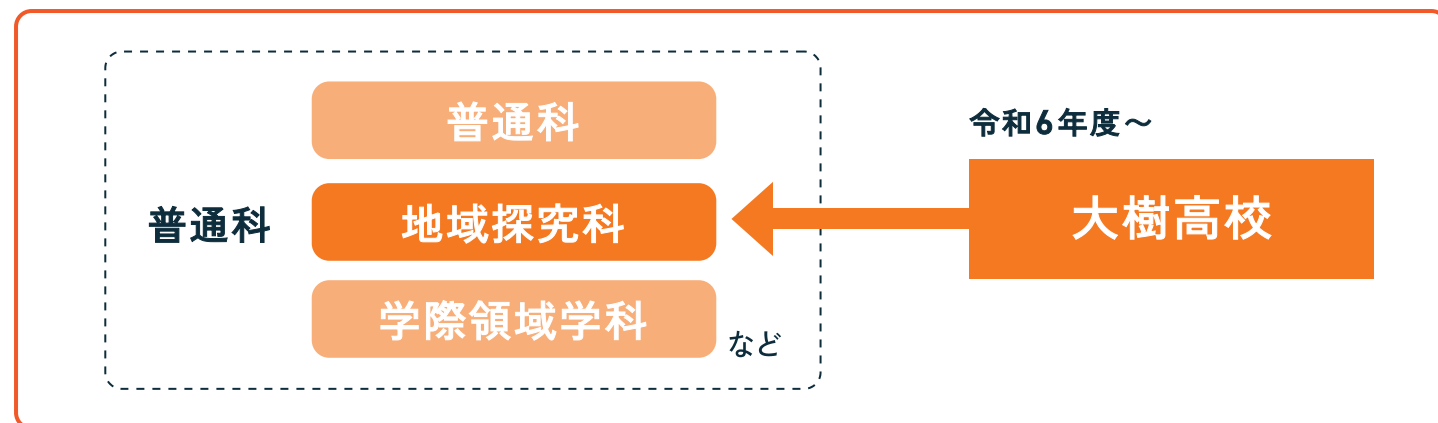
文部科学省 「新時代に対応した高等学校改革推進事業
(普通科改革支援事業)」指定校

大樹高等学校活性化推進協議会

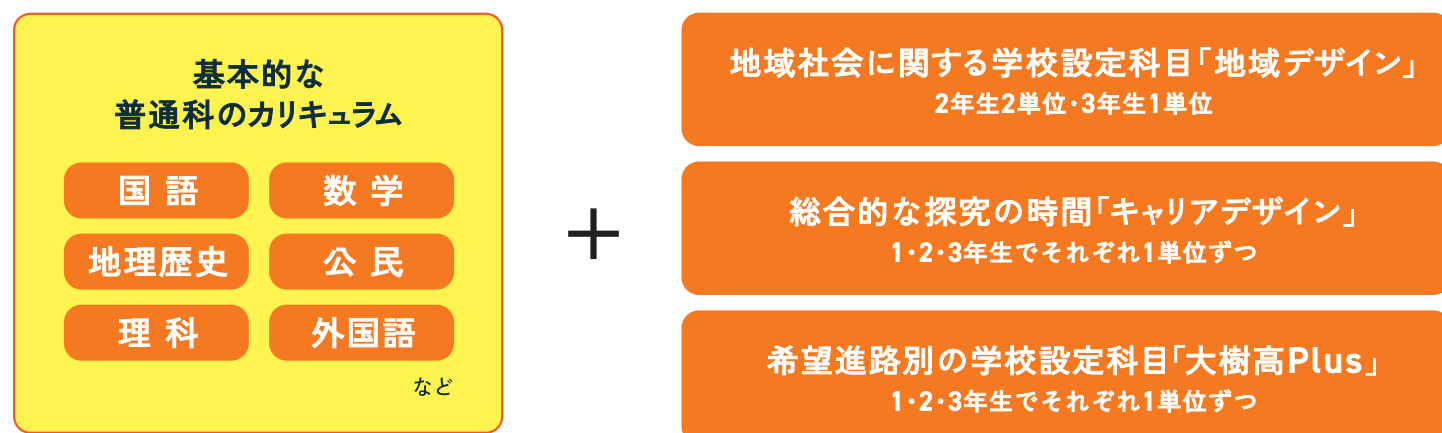


大樹高校は文科省が推進する「新時代に対応した高等学校改革推進事業(普通科改革支援事業)」に採択され学校の特色化・魅力化や、教科等横断的な学習の推進による資質・能力の育成に取り組んでいます。

大樹高校は令和6年度から 「普通科 地域探究科」に学科名が変わります。

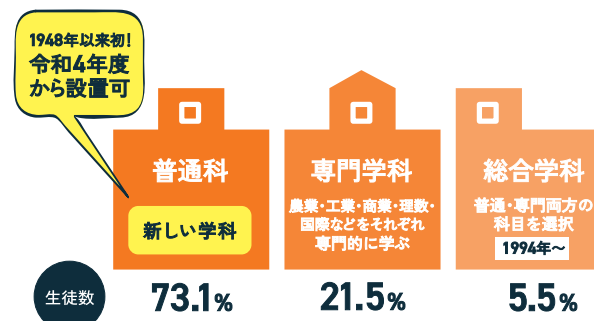


必修科目など、基本的なカリキュラムはこれまでの普通科と同じまま、
総合的な探究の時間など、学校の裁量で使える時間を活用して、
これまでも大樹高校が取り組んできた「一人ひとりの進路実現」と「地域と連携した探究活動」をより充実させていきます。



高校の普通科改革とは？

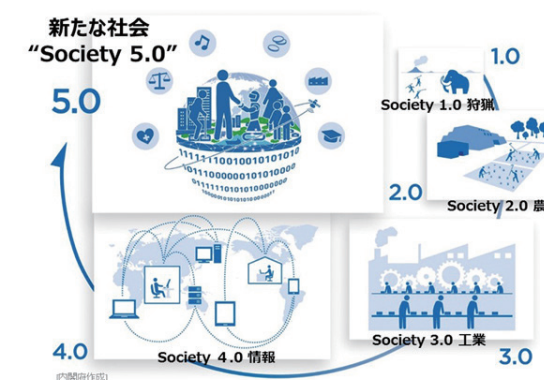
日本の高校は、普通科、専門学科、総合学科の3つに分かれています。多くの教科を幅広く学ぶ普通科のほか、農業や工業、商業、理数などの専門学科は、それぞれの専門科目を多く学びます。日本の高校生の7割が通う「普通科」について、高校の特色化・魅力化を推進するため、令和4年度から新しい学科を設置できるように制度が変わりました。



普通科改革のねらい

普通科改革の背景には、受験生の多くが学校の特色や教育内容ではなく、合格難易度や通いやすさをもとに選んでおり、高校入学後も大学受験や就職に関係ない教科は意欲が低下しがちという現状があります。普通科であっても、特色や魅力を打ち出した高校を増やすことによって、卒業後に大学や社会で学びを深めるための力や、課題発見・解決力など実社会でさまざまな課題に接する際に必要な力を身に付けることが普通科改革のねらいです。

現代の社会に目を向けると、産業構造や社会システムが急激に変化しており、実社会で求められる能力は変わり続けています。高校教育で従来の取組を続けているだけでは、新しい時代に対応できる人材の育成にはつながりません。地域社会と連携・協働して、多様な他者と協働して地域社会に新たな価値を生み出すことが求められています。



Q & A

- Q** 大樹高校は「普通科」ではなくなってしまうの？
- A** 大樹高校はこれからも「普通科」ですが、「地域探究科」という小学科名がつきます。基本的なカリキュラムは普通科のまま、学校独自で設定した3つの特色あるカリキュラムが充実します。
- Q** 大学や専門学校への進学には対応できるの？
- A** 理系・文系の大学進学はもちろん、各種専門学校への進学も可能です。これまでの普通科のカリキュラムに加えて、より一層、一人ひとりの進路に応じた選択科目も充実します。
- Q** 「地域探究科」と「普通科」は選べますか？
- A** 令和6年度以降に大樹高校に入学する生徒は全員「普通科 地域探究科」の生徒になります。

大樹町の豊かな産業や人材資源をフィールドに、自身に関心をもつ地域課題についての探究活動に取り組みます。
実際に現場を訪れ、地域の人と対話をする中で、地域や社会の課題は様々な事象が複雑に絡み合っていることを理解し、
対話と共創によって課題を解決する力を身に付けます。

2年生

テーマ別の課題探究にチャレンジ！

STEP 01 フィールドワーク

教育・福祉

農林水産業

宇宙・科学技術

商業・観光



STEP 02 課題設定

- ・酪農の魅力をPRするには？
- ・宇宙の魅力をもっと知ってもらいたい！
- ・高齢者と若者の交流の場をつくりたい！



STEP 03 検証

- ・酪農の魅力を伝えるレシピ考案
- ・キャラクターとロケットのコラボ提案
- ・高齢者とゲームで交流

STEP 04 発表！

3年生

個人テーマで課題探究にチャレンジ！

大樹町の海の問題を 知っていますか？



実際に漁港を訪れ、
漁業協同組合の方にお話を聞きに

赤潮のニュースに関心をもったことをきっかけに、
大樹町の漁業の問題をテーマに探究をスタート。
赤潮は自然災害のため防ぐことはできないことを知り、
いま自分達にできることを考えた結果、
より多くの人に赤潮の被害を知ってもら
うことをテーマに活動を開始しました。
ポスターを制作し、高校の文化祭で展示。
見た人にアンケートをとり
その成果をまとめ報告しました。



赤潮以外にも、プラスチックごみや温暖化の影響など、
漁業を取り巻く様々な問題も知ることができました。
これからも漁業の問題を知ることや、伝えることに取り組んでいきたいです。

その他の
テーマ

- ・バイト先のスーパーでフードロスを減らしたい
- ・中高生が集まる居場所をつくりたい
- ・町の花火大会で音楽を流して、若者の参加を増やしたい
- ・スポーツで大樹町を盛り上げたい
- ・みんなが歩く歩道をもっときれいにしたい
- など、様々なテーマで探究活動に取り組んでいます。

Q

なぜ探究的な学びが必要なの？

A

現代社会の諸課題は、文系や理系など、どちらかの学びだけで課題を解決できるという単純なものではありません。例えば「地域を活性化するためには」や「グローバルな環境問題を解決するためには」などの課題を解決するためには、各教科等での学びを統合させ、探究的に学習することが大切になります。

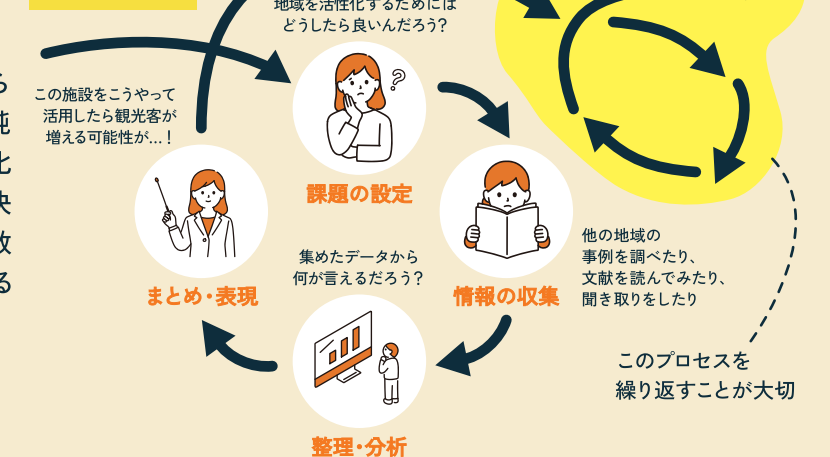
Q

どんな力が身に付くの？

A

複雑に絡み合う地域や社会の課題に向き合い、自分達にできるアクションを見出し、実行と検証によって次のステップに進んでいく力＝問題解決能力を身に付けます。また、地域の様々な背景をもった人との対話や、チームメイトとの議論を通じて、問題解決に必要なコミュニケーション能力や、自身の考えを発信していく力を身に付けます。

探究のプロセス





2

自分を知り、キャリアを見つける
総合的な探究の時間

「キャリアデザイン」

学校設定科目の「地域デザイン」と同様に、大樹町の豊かな産業や人材資源を活用し、自己探求に取り組みます。

1年生

インターンシップ — 職業観と向き合う —

事前学習と事後学習をしっかりとすることで、自分の職業観と向き合う時間に。



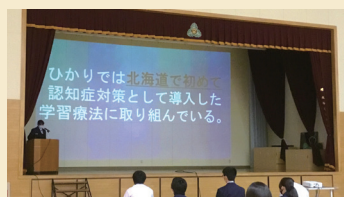
事前学習

- ・目標と課題の設定
- ・受入企業と確認



職業体験

- ・仕事を体験する
- ・メモをとる、質問をする
- ・主体的に関わる
- ・実習日誌による振り返り



事後学習

- ・お礼状の作成
- ・振り返り
- ・プレゼン資料作成
- ・報告会

2年生

台湾見学旅行 — 他国の文化を知り、交流を通して多様性を学ぶ —

事前学習



「食」をテーマに調べ学習



中国語・料理講座



義守大学生との交流内容を企画



手作りのミサンガと5円玉

体験



中正記念堂を観光



高雄市の蓮池潭



千と千尋の神隠しの舞台と言われている九份



士林夜市で夕飯



姉妹都市・大樹区の義守大学を訪問



義守大学生との交流

大樹高校から義守大学(台湾)に進学!



卒業生 大町 ビータ 龍馬

全世界40カ国以上から来ている留学生と一緒に勉強や文化交流をすることができる柔軟な大学です。また、英語と中国語の両方を学べることも魅力です。

3年生

進路強化研修

大学進学、就職など進路別にグループに分かれ、一日かけて進路について集中して考えます。



コース別探究

面接練習や進学講習など、希望する進路別に必要な探究活動を行います。



3

一人ひとりの将来の夢に応じた学習
希望進路別の学校設定科目

「大樹高Plus」



1年生

基礎学力の向上と一般教養を身に付ける!

ベーシックコース

1年生では中学校の復習からスタート。基礎学力をしっかりと身に付けることで将来の幅が広がる!

義務教育の復習

一般常識

高校基礎

2年生

一般常識

高校基礎

自己分析

業界研究

3年生

履歴書作成

面接練習

プレゼンテーション

一般教養

ワンランク上のレベルにチャレンジ!

アドバンストコース

大学進学を目指す人や、より専門的な知識を身に付けたい人のためのチャレンジコース。

現代文

数学

英語

古典

数学

英語

現代文

数学

英語

実用的なスキルを身に付け、なりたい自分へ!

ビジネスコース

就職を目指す人や、社会にでてから役立つ実用的なスキルを身に付けるための実用技術コース。

ビジネス文書

情報処理

ビジネス文書

情報処理

ビジネス文書

情報処理

プレゼンテーション

一般教養

＼まだまだあるよ！／

大樹高校の4つの特色

1 誰にでもわかりやすい授業づくり

平成27年度に文科省の指定を受けて、一人ひとりの学びの進度に応じた授業づくりを研究実践してきました。生徒が自ら学びたくなる『アクティブ・ラーニング』を、全学年・全科目で取り入れています。教えることは要点を絞って最小限にし、応用段階のディスカッションや発表に取り組むことで、学びたくなるスイッチを押す授業づくりをしています。

2 コミュニケーションスキルトレーニング

ディスカッション中心の授業を支えるのは、「個人を尊重するから」。人は一人ひとり違う個性や感じ方を持っているということを理解し、他者や自分以外の世界とよい関係をつくるコミュニケーションスキルを3年間を通じて学びます。

1年生 人間関係、個性理解

2年生 コミュニケーション、感情コントロール、トラブル・アクシデント対応

3年生 強みを認識、自己表現、他者との共生

3 室蘭工業大学等、国公立大学との連携、体験型の授業

4 食で地域とつながる「フードデザイン」他、多世代交流や地域貢献活動

北海道大樹高等学校

〒089-2155 北海道広尾郡大樹町緑町1番地
TEL 01558-6-2063 / FAX 01558-6-2868
<http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp/>

